

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【職業科】

1. 対象 特別支援学校 高等部3年

教科における実態としては、これまでの学習の積み重ねから、自分の卒業後の生活や進路について少しずつではあるが考えることができるようになってきている生徒が多い。学習を通して、将来に向けてより具体的な目的や目標をもち、意欲をもって生活につなげていけるとよい。

2. 単元名 「目指せハッピーライフ！卒業後の将来につながる職場実習にしよう」

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・職場でのふさわしい行動や態度、必要な力を身に付けることができる。
思考力，判断力，表現力等	・職場実習での成果や課題について気付いたり、考えたりしたことを表現することができる。
学びに向かう力，人間性等	・職場実習の成果や課題を、卒業後の職業生活に向けて、生活の中で生かそうとすることができる。

4. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い

職場実習を卒業後のハッピーライフにつなげるために、働く上で必要な力について考えよう。

考えるための材料

○前期の実習日誌、評価表、振り返りシート

想定される活動

・前回の職場実習で気付いた自身の課題について再度振り返ることで、今回の実習で気を付けるべきことや実践したいことを具体的に考えたり、目標を設定したりする。

○後期の実習での写真や動画、実習日誌、評価表、振り返りシート

想定される活動

・実習中の自分の取り組みを振り返り、何ができて何ができなかったのか（成果と課題）に気付いたり考えたりする。
・実習における成果と課題について、まとめ、整理する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

○職場実習の振り返りの時間を2時間程度設定。個人の振り返りを行った後に、グループワークを行う。

・グループは3人と4人の2グループに分け、各グループには教師が一人付くようにする。
・グループは実態を均等に分け、リーダーとなりグループワークを進行する生徒を一人ずつ配置しておく。

・お互いの成果や課題について伝え合い、卒業後に考えている生活や働くことについて、これからどのようなことに気を付けて生活するのがよいか、それぞれの課題から意見やアドバイスを出し合う。

生徒A「わたしは、今回の実習で返事や挨拶、報告を特に意識して、相手に伝わる声で言えたと思います。」

生徒B「いいですね。ぼくは、指示を受けたことを正確に行うことを心掛けて、丁寧に作業をしました。」

生徒C「わたしは、正確に作業はできたけれど、一つの作業を終えるのに時間が掛かってしまいました。」

生徒B「そうですね。でも、慌てて失敗したり間違えたりするよりも、まずは正確にできることが大事だと思います。」

教師「確かにそうですね。でも、Cさん、作業を繰り返していくうちに、少しずつ作業スピードが上がってきたのではないですか？作業日誌の担当の方からのコメントにも書いてありましたね。」

生徒C「はい。少しずつ作業に慣れてきたな、とは思いました。」

生徒B「それなら、これから働くとなっても、何度も繰り返していくうちに、作業スピードは自然と速くなるんじゃないでしょうか。でも、今のうちから、学校の作業学習などで正確さと手早さを意識しながら作業するようにしたら、卒業後の仕事に生かせるかもしれないですね。」

生徒C「はい。そう思います。卒業まで、意識してやってみようと思います。」

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・前期の実習の課題を意識して仕事に取り組むことができたと思う。でも、これから長くこの仕事で働くためには、効率の良さや、もっと周りを見る力をつけたい。学校の普段の生活や、作業学習の中で意識してやっていこうと思う。
- ・2年生からずっと言葉遣いや相手との距離感を課題にしてきた。今回の実習は、今までで一番気を付けてできたと思う。卒業までの間、もっとちゃんとできるようになりたいから、学校の先生や地域の人への言葉遣いに気を付けていこうと思う。
- ・今回の実習では、決められた仕事を正確に行うことができたと思う。ただ、少し迷ったときにすぐに質問ができなかった場面が何度かあったから、これからの生活では、もっと自分からすぐに質問できるようにすることを意識しようと思う。
- ・実習中、寝るのが遅くなってしまったときがあって、朝辛かったり、昼頃に集中力が切れてしまったりすることがあった。これからもっと長い期間働くことを考えると、生活習慣を整えることも大事だと思った。これからの自分の生活を見直して、少しずつでも整えていこうと思う。